

【附属小学校 一年生】

ななふしやびつくりしたぞきのえだか
あさがおやぐんぐんのびてげんきだな
いわやじや山の中にはせみのおと
かきごおりシャシャシャと山になる
かきごおりイチゴとラムネまぜてみた
かぶとむしともだちふえてたのしいね
あさがおにまいにちおみずうれしいな
なつのあさせみのなきごえたのしいな
だんごむしてきにもられてまるくなる
かきごおりなにしようかまよっちゃう
ひまわりがたいようさんとわらってる
しょうぶするせんこうはなびしずかだな
みずたまりちようちよがみずをのみにきた
あさがおもぐったりするよねこのあつき
すいかのたねどっちがとんだ？はなのかち
なつまつりコロナのせいでいけないな
きのえだのせみをつかんでおおはしやぎ
ぐんぐんとあさがおのつるのびていく
すいすいとならんでおよぐめだかたち
なつやすみみんなでみようぜプロやきゆう
なつのよる大きな大きなホームラン
かきごおりきんきんひえてつめたいな
おかざりにねがいをこめてたなばたに
ペンギンがすいすいおよぐなつのそら
かわあそびなかよくあそぶおやこガニ
おふろばがプールになるよなつやすみ
こうえんでせみをさがしてまっかつか
なつのかわにじますつたでかかった
そらを見てならんでたべるかきごおり
あさねぼうみんなみんぜみにおこされる
ひらひらとおちばじゅうたんカラフルだ
そうめんをつるつるりおくらとね
かきごおりいちごたべたらべろまっか
なつマスクはずすとかぜがきもちいい
ぶどうがりおなかのなかにいちねんぶん
マスクせず大声さけぶせみのこえ
なつやすみこんがりやけたぼくのかお

川上そうすけ
川上そうすけ
まつもとひろたけ
まつもとひろたけ
もりやかこ
もりやかこ
しげまつりん
しげまつりん
たけうちみおり
にしきこまさき
にしきこまさき
まついみさき
まついみさき
まつだはな
まつだはな
なかむらゆな
なかむらゆな
高市紗愛
高市紗愛
よしむらたける
よしむらたける
あおきるか
あおきるか
しらいしけいた
しらいしけいた
さとうよしき
さとうよしき
さとうよしき
さとうよしき
きくちかいと
きくちかいと
もりやりお
もりやりお
山田幹菜
山田幹菜
山田幹菜
すのうちはると
すのうちはると
すのうちはると
松本莉桜
くろせなぎさ
うりもりこうだい

ぼくはせみもうなかないよなつおわり
おにわでねプールにはなびにすいかわり
あさごはんまつてるあいだにけんおんだ
バーベキューはえがじゃましておちつかない
かぶとむしわなかけ6じにおきれるか
さかなつりきづけばうみべで水あそび
つかれたなながしそうめんコロナかな
なつやすみコロナでどこにもいけないよ
やけたすなどきどきとびこみぼくのなつ
ねえばあばはなびもことしはあがらないね
そらとんでたべにいこうよにゆうどうぐも
あああついセミといっしょにぼくさけぶ
なつやすみじかいけれどうれしいな
なつうまれことしはがっこうたんじょうび
みつをさけじょうずにひやけなつおんな

【附属小学校 二年生】

あせながし魚おいかけ水の中
虫あみをかわしてとぶよアブラゼミ
せみの声マズルカふうでまねてみる
夏の寺わかってますねとぼさつの目
いつもここ小さな日かげかえるさん
マスクとり笑ってくれたひいばあば
虫あみにシオカラトンボひっかかる
黒い雲風がつよまりまわり道
くらい朝みんみんきこえ目をさます
トマトがねのどかわいたよかお赤い
お姉ちゃんを作ったふうりんひびく午後
とう校中大人になってくおたまじゃくし
はやぐいでつーんときたよかきごおり
おひさまとなかよしきゆうりとげとげだ
公園でせみのぬけがら見つけたよ
すいかたべわたしのおなかもまん丸だ
秋の木はオレンジきいろきれいだな
きれいだな白いまちなみ冬げしき
ふろあがりいつもおもしろいママのおちや
はがなくてそうめんつるつるたべやすい
セミの声おじいちゃんちを思い出す
夏休み目ざまし時けいも朝ねぼう

うりもりこうだい
やまさきまお
やまさきまお

宝来大地
宝来大地

いしまるちさと
いしまるちさと

まつしたこうたろう
まつしたこうたろう

岩田和佳奈
岩田和佳奈

上野 龍
上野 龍

岡本梨里衣
岡本梨里衣

ふく田そう
ふく田そう

杉森元香
杉森元香

露口新夏
露口新夏

嘉代知隼
嘉代知隼

大田こうすけ
大田こうすけ

山ずみ理月
山ずみ理月

川本けん人
川本けん人

すぎ田あおい
すぎ田あおい

元原綺音
元原綺音

とくおかみのり
とくおかみのり

杉田いろ葉
杉田いろ葉

杉田いろ葉

ゆきかきで一人さみしく道つくる
きゆうりのつるとなりにのびたよおすそわけ
さか上がりセミときかさまにらめっこ
そうめんとよし本ですごすぼくの夏
ゆめのせていよなだはしる夏れっ車
母いそぐ空のひつじによううちゆうい
こうえんでセミみつけるもあみがない
いつの間にバトンタッチの虫の声
カブト虫たまご三つうんでいた
みんなとねはげしいダンスおもしろい
さどがえりみつにならずにあそんだよ

【附属小学校 三年生】

あつすぎてエアコン温度えらべない
あつすぎてマスクの中はびちよびちよだ
負けないぞステイホームの夏休み
せみしぐれ毎日聞こえるコロナかな
木に登りサルが上手に花火見る
平きんの時間くらべるかたつむり
夏の空一番星がきれいだな
ゆうがたにかにさされたよ水やりで
色白だ外は暑くてマンガ読む
風呂プール今年はやさしい母の顔
ひまわりがぐんぐんのびる夏のころ
サイダーをごくごくのんでしんこきゆう
夏休みぼくのズボンがずりおちた
かたつむりだれにしかられずり歩く
夏の星ほうせきのようにきれいだな
およぎたい頭の中はかき氷
夏やすみかきごうりを食べまくる
夏やすみあついあついとせみがなく
ぎやまんにぬけがら入れたとんでった
お日さまの光にてらし柿の実を
秋風のささやくもみじヒラヒラと
これうてるずばつとふつたらストライク
バーベキューにおいにつられてはえもくる
テントはり思い出ひとつ夏休み
ランタンに集まるかげはかぶと虫
ディスタンスか島船にて海渡る

玉田天留
ますかがみゆえ
ますかがみゆえ
岩田朋樹
岩田朋樹
もりそう
もりそう
小林みか子
小林みか子
矢野咲良
矢野咲良
矢野咲良

山内さく
山内さく
武田啓志
武田啓志
本多晴大
本多晴大
つるたはるま
つるたはるま
崎山仁心
崎山仁心
藤原 魁
藤原 魁
大石獅王
大石獅王
大石獅王
守屋日菜子
守屋日菜子
守屋日菜子
竹野僚真
竹野僚真
浦辻弥織
浦辻弥織
西原広紗
西原広紗
澤田茂侑
澤田茂侑
竹内志隆
竹内志隆
まつばらじんた

友だちと花火楽しむ海岸で
 日やけ止めぬるのをわすれマスクあと
 朝やけに尾をふる黒牛四国カルスト
 バスタオルはおるカルスト秋近し
 2がっきはコロナきよならうれしいな
 手をつなぎ友とわいわいさわぎたい
 おもごけい川のがみにうつる空
 とびこんだ川のそこにアカハライモリ
 夏休み今年はバーチャル旅行かな
 かき氷今年は自たくで食べほうだい
 秋田では冬になったら長ズボン
 えひめでは冬になっても半ズボン
 みずでっぽうみんなであそぶ夏の川
 はかまいり太陽あびてさすべり
 レモンの実入道雲を背にひとつ
 おとうととなかよくしたいいつまでも
 おとうとも流れてくるよ川遊び
 せのびしたあみのその先アブラゼミ
 雨あがりにじいろひかるしゃぼん玉
 水遊び気持ちいいなと光るかけ
 夏休みしゆくだいいっぱいぜっこうちよう
 水中花色とりどりできれいだな
 水でっぽうまどにされるとぬれちやうな
 夏の空きれいな星が歌ってる
 春の日にさくらのじゆうたん舞い上がる
 盆休み心の中で墓参り
 新しいスマホとじいちゃんにらめっこ
 熱帯夜なかなか寝れず氷くふ
 ローラーをすべるおしりと雲の峰
 夏休みクワガタさがす子どもたち
 ラムネ飲みシユワツとするな元気でる
 夏の日がみんなのあせをしぼり出す
 からからの体よろこぶ水うまい
 せみたちのなきごえきいてめをさます
 なつのそらひこうきぐもがどこまでも
 夏の潮灯台にとどく思い出と
 夏バテのつらさふきとぶ温泉やど
 もくもくとクジラみたいな入道雲

まつばらじんた
 宮内晴多
 永井 樹
 永井 樹
 さいきひろのり
 さいきひろのり
 いけがわはるま
 いけがわはるま
 相原由菜
 相原由菜
 川本ゆきあ
 川本ゆきあ
 かわうちえみこ
 田中りこ
 田中りこ
 ふじやまあいじゆ
 ふじやまあいじゆ
 松本いろは
 松本いろは
 宮崎遊穂
 宮崎遊穂
 わたなべるか
 わたなべるか
 大久保 春
 大久保 春
 渡森瑛大
 渡森瑛大
 富田悠仁
 富田悠仁
 原 健斗
 原 健斗
 まなべけん
 まなべけん
 原井孝介
 原井孝介
 原井孝介
 原井孝介
 かめおかじゆん生
 かめおかじゆん生
 喜井龍昇

コロナのせい旅行に行けない夏休み
せんぷうきみんなのえ顔あふれだす

朝の五時母の目ざましせみの声

川遊び色んな魚出会う夏

夏休み少し短くバタバタだ

バーベキューバックミュージックセミの声

洗たくし夏の旅行後大いそがし

なつのひに川でひやしたキュウリうまっ

シャリシャリとあまいスイカおいしいね

ラフティングまるで自然の乗り物だ

世界中二〇二〇をわすれない

いわしたちすいすい泳ぎ密になり

夕ぐれの手作り屋台かき氷

ヒマワリは笑顔がたくさん実ってる

夏の朝ミーンミンミンセミ歌う

地図記号たくさんおぼえた夏の風

育てたよモンシロチョウのよう虫を

流星ぐんコロナさよならねがいこめ

水あそびライフジャケットわすれずに

【附属小学校 四年生】

島スイカおじいちゃんのアセのガラ

目ざましとせみがきょうそう夏休み

あつい中はしの下でつりをする

木のかげでクマゼミたちがうたってる

ぎらぎらとまぶしくひかるにわプール

木のかげでかきごおりたべひとやすみ

会いたいねだけどコロナで今はがまん

すぐに言おうごめんなさいとありがとう

ミンミンミ聞こえかんじる夏のおとずれ

こかげから空見て聞き入るなつがっしょう

夏もう暑ぬっても日やけで顔真っ赤

塾帰りメラメラもえる夏のボク

夏の山白いぼうしをかぶってる

セミたちが木のステージで大合唱

母の声せみのなきごえかきけすよ

水遊双子カワウソくるくるり

瀬戸の海王様コブダイ堂々と

冬の朝白いわたが落ちてくる

喜井龍昇

舟橋さゆ

舟橋さゆ

古谷沙羅

古谷沙羅

宝来花乃

宝来花乃

わたなべこいろ

わたなべこいろ

小笠原さくら

小笠原さくら

松岡優依

松岡優依

富田唯愛

富田唯愛

わしの心春

わしの心春

高田莉亜

高田莉亜

グレブやえ

グレブやえ

綿谷友希

綿谷友希

松田悠汰

松田悠汰

関谷百華

関谷百華

西村百加

西村百加

岡村帆葉

岡村帆葉

松田悠希

松田悠希

森岡春奈

渡邊海斗

渡邊海斗

日野優菜

夏の風鳴き声ともにながれるぞ
 サンドルのもように日やけ夏休み
 マスクしてコロナ予ぼうの夏休み
 青い海うちよせる波いい音だ
 かじかむ手みんなで作る雪だるま
 夏休み友とたくさん遊びたい
 外出れず知らぬ合いだにサクラちる
 とどきそうならった星に私の手
 空見上げ打ち上げ花火数かぞえ
 せみのこえめざましどけいいらぬいな
 きゅうりたべしおをかけすぎしょっぱいな
 雪だるま朝日とともにおでかけだ
 汗かいて青田かけてくオニヤンマ
 はつぎくら雲の上からまいちるぞ
 さくらだいうみの上へとどきはねる
 美くしいマリンドブルーのソーダ水
 夏の夜急いでのぼれセミの子よ
 カブトムシいつももぐって省エネだ
 山の中風がふいたら桜ちる
 川の中きらきら光る生き物が
 そうめんに氷ひとつぶひんやりだ
 青い海みんなの海だ大切に
 満天に子供の笑顔夏の星
 真夏日だあせたきのようにながれてく
 満開ださくらのピンク葉っぱの緑
 せとの風自転車こいで海わたる
 せみの羽科夜明ける前にとんで行く
 妹がぶどうムシャムシャ1人じめ
 目が痛い目にも必要日焼どめ
 野さいたち水をあびると笑っている
 たんぎくをかいてねがいを光らせる
 クワガタが頭におちてびっくりだ
 クワガタがあごをひらかせいかくまん
 おんがく会セミがないてる森の中
 せみの声目覚まし時計いらぬ朝
 乗りたいな綿菓子みたいな入道雲
 一点差サインスクイズ汗ぬぐう
 先制打ガッツポーズの日焼顔

日野優菜
 仙波乃阿
 仙波乃阿
 青木たくと
 青木たくと
 佐伯和紀
 佐伯和紀
 松井湊美
 松井湊美
 久米銀河
 久米銀河
 吉津佑祇
 吉津佑祇
 神野みなみ
 神野みなみ
 大木彩衣留
 井門ななか
 井門ななか
 片山みのり
 片山みのり
 松岡忠尚
 松岡忠尚
 大野慈晟
 高橋煌世
 高橋煌世
 東 蘭夢
 東 蘭夢
 徳岡 葵
 徳岡 葵
 竹野颯真
 竹野颯真
 田坂洸翔
 田坂洸翔
 わたなべひなた
 永木愛麗
 永木愛麗
 榎谷渉真
 榎谷渉真
 榎谷渉真

稲光まなこ見聞きちぢこまる
 するするとにげる青トカゲかけほうし
 風鈴はたくさんあれば一りんの花
 夏になり打ち水打って心地よい
 おひさまに負けたトマト葉は茶色
 マスクしてコロナ予防がねっ中しよう
 ほしたちはピカッとひかるたからもの
 ねったいやトンカツたべてぼくのかち
 突然にせみの鳴き声大合唱
 妹が突然ダイブ川の中
 カブトムシ屋外飼育であり同居
 ハンディファン光をめぐる妹や
 一人部屋初めてねむる小四夏
 キーパーになると決めた夜北極星
 天然の水族館でアユ発見
 夏の川大きな岩からダイビング
 ホーホケキョやっど鳴けたね夏近し
 せみしぐれうるさくおもうときもある
 間伐の体験ワクワク夏の山
 夏休みひんやりしてる水遊び
 コロナかでならばずたべたかきごうり
 せみの声朝のめざましべんりだな
 登校日友の笑顔でパワーゲット
 可哀想セミも暑いと鳴いている
 夏休み太陽がギリリサンサンと
 秋のよる虫がかなでるハーモニ
 夏やさしい赤青黄いろカラフルだ
 【附属小学校 五年生】
 によど川あゆといっしょに川下り
 光る橋空中散歩で島めぐり
 君の声夏の夕暮れ響渡る
 風薫る風鈴回る君の声
 炎天下少し嬉しい夏の風
 キャンプ場こころ安らぐハンモック
 流れ星ぼくの願いは届くかな
 星を観に行く車中はおおさわぎ
 川遊びつかまるまいと逃げる魚
 あかんぼう急に泣きだしせみあわて

平橋茉夕
 平橋茉夕
 島崎美恵子
 島崎美恵子
 川本沙季
 川本沙季
 樋野友弥
 樋野友弥
 樋野友弥
 守谷太吾
 守谷太吾
 守谷太吾
 向恭佑
 向恭佑
 向恭佑
 榊鏡朝陽
 榊鏡朝陽
 榊鏡朝陽
 高野宙翔
 高野宙翔
 高野宙翔
 大塚峻輔
 大塚峻輔
 大塚峻輔
 山田彩愛
 山田彩愛
 山田彩愛
 須之内雄人
 須之内雄人
 須之内雄人
 田中芭琉
 田中芭琉
 上野杏樹
 上野杏樹
 上野杏樹
 高市莉愛
 高市莉愛
 高市莉愛
 サラモノフスキ
 サラモノフスキ
 サラモノフスキ
 モニカ
 モニカ
 モニカ
 渡邊聖也
 渡邊聖也
 渡邊聖也
 中田航士朗
 中田航士朗
 中田航士朗
 矢野凧音
 矢野凧音
 矢野凧音
 福岡璃子
 福岡璃子
 福岡璃子

夜の空光がドツカン花火だよ
 山の中セミの声がすきとおる
 朝顔と早おき勝負私負け
 夜顔に早ねの勝負受けてたつ
 夕なぎにくつきりうつる赤い雲
 流れ星見上げる空にねがいごと
 友づりへ水面輝くセミのこえ
 夏の夜かすかに光る花火かな
 あついなか小かげで食べるかきごおり
 あと一つアイスクリーム争だつ戦
 夏の日にはアイス食う人増加する
 花火の日コロナで中止悲しいな
 夕焼けよ未来の僕を映しだせ
 青じそのひがさの下でひと休み
 夏休みコロナで自しゆく日焼けなし
 せみの声青空いっぱいひびいてる
 マスクしてコロナに負けるな楽しもう
 いじめなし気を配ろうよ自分たち
 夏休み三兄弟で海づりへ
 ぼかぼかと心にしみる夏の風
 ねむたいなーもう少しだけせみさんよ
 気持ちいいー海は行けないけど足水は
 せみの声アイロンあてる三角布
 うき輪持ち心もうきうきおどる姉
 夏終わりせみの鳴き声やんでくる
 夏の朝せみのなきごえで始まりの日
 ただよった夏のおいが好きになる
 夕焼けがきれいに見えた夏の空
 泳ぐなら水が冷たい面河川
 寒い冬いっぱい動いて温まろう
 うだる中アイスクリームいとおしい
 ひがんばな葉っぱがないのわすれもの
 日焼けあと白くもどった夏休み
 立ち漕ぎで掴める気がした入道雲
 川遊び水の中での社会かな
 寝ころんで日なたのにおいつつまれる
 旅しおり妹と作る来夏こそ
 かき氷キーンとしてもおいしいよ

藤代秀美
 藤代秀美
 真鍋華乃
 真鍋華乃
 宇野一勝
 三木愛莉
 玉田愛留
 大山尚泰
 大山尚泰
 井川結人
 奥村駿祐
 奥村駿祐
 奥村駿祐
 中畑遼音
 中畑遼音
 東 幸輝
 東 幸輝
 平田拓海
 平田拓海
 平田拓海
 八重川 輝
 八重川 輝
 川田みゆ
 川田みゆ
 川田みゆ
 齋藤 華
 齋藤 華
 松尾咲良
 松尾咲良
 山下きらり
 山下きらり
 菅 勇心
 菅 勇心
 下村連士
 下村連士
 下村連士
 杉之原斗真
 杉之原斗真
 杉之原斗真
 玉田光留
 原井琥太郎
 原井琥太郎
 松浦吳希
 松浦吳希
 松田敬葵
 松田敬葵

せみの声ゲームの音が聞こえない
わき水にもぎたてトマト冷やしけり
せき止めて二本のコーラ川遊び

夕暮れや水辺に光る螢たち

かき氷夏を感じるすいか味

種あるし甘くないけどバリうまし

土用干し道を迷ったあとなのか

やわらかい光またたくほたる川

日焼けして一皮むけて始業式

あきですよ目覚まし時計はセミたちだ

里帰りおくり火の先蜂の家

木々のセミ夏休みだよおしえてる

花火終え見上げた空にはくちょう座

【附属小学校 六年生】

つめ直しまたつめ直しキャンプの荷

夕立やきやあきやあきやあと露天風呂

川蝉は空飛ぶ宝石夏の川

守り神ヤモリ見つけた夏休み

静じゃくの夜空をかける流星群

鐘がなる口へ運びし氷山

青き空起き立つ雲と対峙する

手習いの成果きかせる子うぐいす

ありがとう思い出つまったランドセル

夏の虫その音色はオーケストラ

【附属高等学校 一年生】

救えない僕は無力だ夏終わる

熱帯夜もう放さない君が全て

盆休みえんびつ片手に焦る日々

三時間チャージャーハン炒め蝉時雨

春の朝なにもかもが新しい

夏の昼笑顔満開マスク下

京巡る浅葱の誠赤椿

穏やかに草木揺らす春の風

カブトムシかわいい顔してよく食べる

部員皆で草引きアイス日和

青空のした部活あと水鉄砲

骨折はただただ不便夏の夕

黙々と描き続ける日夏終わる

松田敬葵

向井京志朗

向井京志朗

村上裕昭

渡部凜仁

渡部凜仁

浦辻弥琴

鶴田結子

鶴田結子

東 沙樹

東 沙樹

山下優唯

山下優唯

川九 新

川九 新

峰雪 暁

峰雪 暁

山本絃貴

山本絃貴

大塚彩瑛

大塚彩瑛

畑野紫瑛

畑野紫瑛

相原永翔

相原永翔

浅野仁希

浅野仁希

石井悠亜

石井悠亜

加藤ちはる

加藤ちはる

上岡まどか

上岡まどか

近藤緋音

近藤緋音

高田萌々夏

高田萌々夏

高橋奈央

高橋奈央

瀧川深優

瀧川深優

新ノート名前を書いた夏来る
マイスマホ充電始めたかき氷
溜息を見上げひねもす夏の雲
キャップ開け手首流れるソーダ水
画面越しのホームラン蝉時雨
太閤死す歴史うごめく夏の夜
上り坂えりあし気にする夏真昼
波止場からせーので飛び込む蝉時雨
脳中を課題がよぎるソーダ水
春愁電車に乗ると君探す
お母さん窓を開けないで夏の昼
思いつく西瓜の種のかぞえうた
久々の試合緊張の夏の夜
宿題に追われる夢や熱帯夜
夏の空コロナに負けじと飛ぶ白球
戻らない時間を偲ぶ扇風機
むーんとした風セミの声とイライラ
跳びまわる子猫とカーテン青嵐
空駆ける飛行機雲と夏よ行け
向日葵よ明るい明日へ導いて
太陽の光が折れる夏の海
夏来たる走るの楽しくなりました
青りんご美しき体にかぶりつく
熱帯夜二酸化炭素を吐き出して
これ以上ない動きぶりごきぶりは
ひしひしと刺さる視線やサングラス
恒例の手品観賞夏の宵
アルバムはいつかの夏の匂いした
下灘の海軽トラの夏の旅
先輩にぶつけた想い水風船
大嫌い届かぬ叫び蝉時雨
ニセンチ差ちよいと抜かれた青りんご
風呂上りコーヒー牛乳夏の風
夏課題稲川淳二がBGM
せせらぎの音が聞こえる浴衣の夜
待ち望むライブまだ見ぬ夏あざみ
散る桜昔があるから今がある
すみっこにラクガキの跡夏の雨

田中乃愛
田中乃愛
露口真大
藤堂海心
藤山七海
藤山七海
中原優菜
中村柑南
中村柑南
西本ころろ
野中ゆな
濱川紫音
早川由唯
林 琴音
日野陽菜
村上快良
山田萌菓
和田雪花
朝見莉愛
家安音葉
伊藤大悟
井上櫻子
魚住 壮
大江恒太
大崎寧皇
奥田優来
奥田優来
金澤日嘉
川上結子
岸 楓香
佐野友希子
佐野友希子
篠原怜奈
清水未来
隅田美結
田中紅羽
正岡香音
正岡香音

歌声よ遠くに響け夏の空
 感染者数騒ぎ立てる大西日
 七夕や願い届かずマスクは届く
 春近し合格通知の白封筒
 シャツ染めるひと口落ちたかき氷
 友達と話した時間残る雪
 しわのないスカートひらひら風光る
 追い風と坂道くだる夏の朝
 水鉄砲この気持ち吹きとばせ
 澄み渡る水面に写りし稲穂かな
 セミみつけネコ遠くからのびよる
 着そこねた浴衣たんすにしまったまま
 旧友の声思い出す夏の空
 長時間お互い見つめる扇風機
 山の上曾祖母の墓風薫る
 ドライブで高鳴る気持ち五月晴
 夏夜空カビのコロニー小宇宙
 夏空よ高く跳ぶからよく見とけ
 蝉叫ぶ吾に聞く力ありません
 目の高さ柱のしるし夏休み
 ウイルスと戦う夏はもう嫌だ
 窓ぎわの届かぬ思い金木犀
 ベランダがプラネタリウム熱帯夜
 部活後にレモンのアイス風そよぐ
 ダンボール積み重なる部屋春一番
 コピー機の広がる音や夏来る
 緊張の最終マウンド夏の空
 弟を兄かと聞かれた秋近し
 雲の下物寂しげに冬の海
 冬近し覚悟を決めて突っ走る
 考えるこれからの道炎天下
 マスクしていつもと違う夏祭り
 【附属高等学校 二年生】
 人生はアップダウンだ錦鯉
 五月晴帰ったらごはん食べよう
 一人また一人と消えて夏終わる
 机にたくさんの消しかす秋深し
 ブラウスのペンキをこする秋の暮

交田 陽
 松崎怜史
 三好咲希
 上田浩務
 上田浩務
 エイモスさくら
 蔭山心暖
 児玉ひなの
 児玉ひなの
 重松知怜
 正司夏希
 正司夏希
 高野佑真
 坪井謙昇
 中矢竜生
 昇みなみ
 乃万陽斗
 百田 律
 百田 律
 百田 律
 福積ゆいな
 古川 誉
 松下麗奈
 水木琴葉
 三ッ井菜々子
 三好菜月
 三好菜月
 村田朝陽
 桃山美羽
 森岡妃菜
 矢野 和
 山本明輝
 好永早良
 片山暁斗
 川崎優人
 河本倅志
 木戸健人
 武智 櫻

グラスから溢れる憂鬱熱帯夜
 もう少し寝させてください油蝉
 あの子への恋と一緒に雪残る
 蝉時雨まだ変わらないで赤信号
 海風に吹かれ飛んでく麦わら帽
 蝉時雨エアコンきかぬ物理室
 宿題多すぎアイスクリームとける
 あと一步踏み出す勇氣南風
 ひぐらしや課題始めて一時間
 問題を隣で眺む日向水
 外出ですら窮屈よ蝉時雨
 駄菓子屋の君は自由だサングラス
 四十十の鮎が糸引く夏の朝
 のろのろと家まで歩く氷菓かな
 涙ぐむ親子げんかや鳳仙花
 弟と相撲をとった夏座敷
 電子辞書机上で眠る扇風機
 夏の空君に届けよ紙飛行機
 お互いの本音を浴びる水鉄砲
 コロナ中セミの集会密ですよ
 南風自転車漕いでのぼる坂
 約束を夜空に残す螢かな
 春の虹どんなどきでも君のそば
 毎朝の変わらぬ景色フリージア
 風光る生徒の集う体育館
 称賛が向日葵向けて降りそそぐ
 透き通る水と向き合う蝸牛
 ソーダ水いつかは君になりたいな
 ステイホーム終わりを告げる渡り鳥
 ブラインドをゆっくり下げたサングラス
 朝七時立ちこぎで行く草いきれ
 人形の声が聴きたい流れ星
 袋いっぱいにつめこんだ入道雲
 感想文書き終え注ぐソーダ水
 目薬が目にしみる夏の空
 生きる意味探してばかり銀杏散る
 生ハムのとなりに卵風薫る
 はるは一日アンニョンヒガセヨさようなら

田中優衣
 野本ひなの
 萩山紗妃
 古屋友我
 益田祐輔
 村上瑠梨
 村上瑠梨
 山田絵美佳
 渡部早依
 渡部透馬
 上田 侑祈
 上野里菜
 大南孝一郎
 岡山真子
 片白 凜
 門田理加
 菅 優梨
 木内紫音
 佐伯果穂
 境 大稀
 高市呼春
 中道沙羅
 西原寛人
 二宮妃奈多
 松田敬成
 上野陽人
 菊池 穂
 菊池 穂
 小島咲菜
 小島咲菜
 上甲百音
 上甲百音
 末光啓一郎
 高橋昂生
 田中晴朗
 田邊 凧
 田邊 凧
 谷岡花菜

散髪し気持ち新たに夏の空

玉井蒼士

雨蛙静まりかえった無人宿

戸嶋優花

消しゴムを使う瞬間蝉時雨

中元万裕

どこまでものぼりつづける天道虫

西岡花楓

青春の色は何色かき氷

花田愛美

霜柱知らなる君は都会っ子

日野杏菜

ステイホームはハッシュタグ花のある暮らし

日野杏菜

バトンパス仲間に託す春疾風

袋田日菜

ペダルは高速子犬と夏来る

正岡桃奈

過ぎてゆく君の笑顔とシャボン玉

山岡礼佳

こんなもの若さのかけらレモン水

横尾美鈴

スピーカーからの音楽冬深し

和田 一

ウォッシュレット壊れてしまったシャボン玉

和田 一

【教職員他】

蜜柑房一つ一つに思ひあり

奥本孝一

桜散り残す名もなき我が身かな

奥本孝一

しゃがみ込む子のつま先に蝉の殻

甲高薫

秋の昼眠る親子は相似形

甲高薫

炎天下キリギリスの足ひきづられ

秋津

山墓地や深山茜の待つ仏

秋津

朝風の地球はひとつふねみつつ

坂本日奈子

小銭入れ閉まらないのはかきごおり

坂本日奈子

父親の淹れたコーヒーから花火の匂い

宮田耕